

[うえる]

Vol.8

2022  
Autumn

Take Free

特集  
つながる、  
こころと心



社会医療法人ましき会  
益城病院  
MASHIKI HOSPITAL

## Contents

巻頭言 .....	1
【特集】「つながる、こころと心」 .....	2
Heart Story 小さなこころの物語 .....	6
ましまる生誕2周年記念 .....	8
15周年美術館企画講演・展示 .....	9
コ・メディカルのお仕事／けんこうUPレシピ .....	10
スペシャリストのたまご／職員作品展 .....	11
こころ相談室 .....	12
わたしのイチ推し！ .....	13
新入職員成長記 .....	14
ましき塾 .....	15
研修と院内勉強会／診療実績／病院等行事 .....	16
職員往来／実習生受け入れ実績 .....	17

## 基本理念

### Our Philosophy

社会医療法人ましき会は、患者さんとそのご家族に対し、最善のプロフェッショナルサービスを提供し、精神科医療の責任ある担い手として、地域の医療・福祉・文化に貢献します。

## 患者さんの権利と義務

### Patient Rights And Obligations

1. すべての個人情報を守られます。
2. 医療上の情報について十分な説明を受けることができます。
3. 医療行為について自ら選択することができます。
4. ご自身の負担で、他の医療機関の医師の意見を聞くことができます（セカンドオピニオン）。
5. いかなる場合も人格的に尊重され、平等な医療を受けることができます。
6. 適切な医療のために必要な情報を伝え、主体的に治療に参加してください。
7. 病状の改善及び共同生活を維持するため、規則や指示を守ってください。
8. 医療にかかった費用を支払う義務があります。

## 職員の倫理

### Ethics Of Staff

1. 益城病院の基本理念・行動指針を自己の行動規範とします。
2. 医の倫理を踏まえ、患者さんの権利を尊重し、希望のもてる医療を行います。
3. 仕事に誇りを持ち、全ての患者さんに公平・平等な医療を行います。
4. 質の高い医療を提供するため、自己啓発に努め、自身の健康増進に努めます。
5. 温和で謙虚、協調と礼節を重んじ、患者さんや地域からの信頼を得よう努めます。

## 5つの誓い

### Five Oath

1. 私達は、精神科医療を通じて社会貢献に努め、社会医療法人としての公益的使命を果たします。
2. 私達は、こころを病む人々に対し、尊厳を損なうことなく、心身の健康づくりに努めます。
3. 私達は、こころを病む人々が、地域で安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. 私達は、お互いの立場を尊重し、働きがいのある職場づくりに努めます。
5. 私達は、医療の質を高めるため、日々、自己研鑽に努めます。

# 顔の見える関係

理事長 犬飼 邦明



「以心伝心」という言葉は、口に出さなくてもその気持ちが相手に伝わるという意味ですが、それは相手との関係性が成り立っていることが前提で、初対面の人には通じません。むしろ言葉を尽くしても真意が容易に伝わらない場合もあり、理解し合うには時間もかかります。「目は口ほどにものをいい」という言葉の意味するのは、コミュニケーションをとるには、表情や目の動きが重要な要素になっているということでもありましょう。

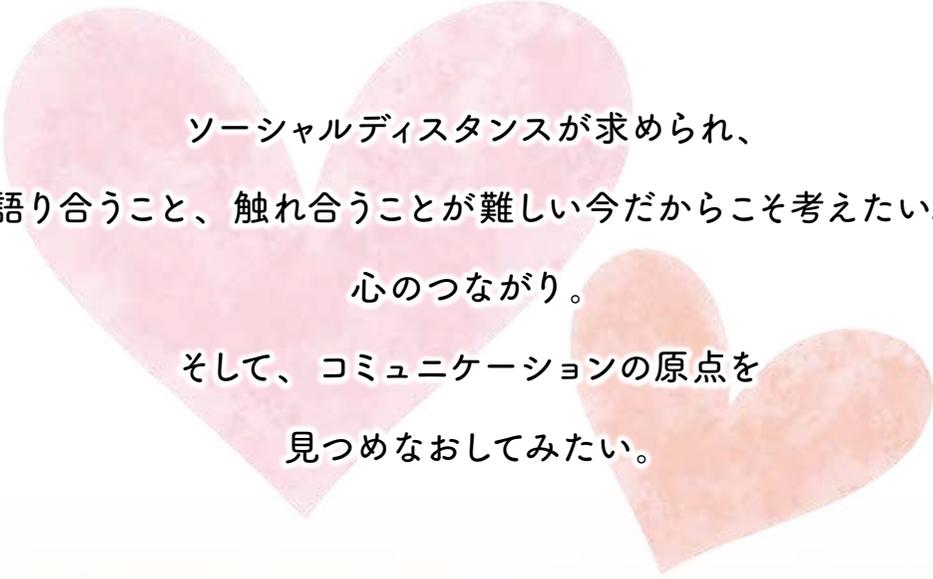
2020年2月、ダイヤモンドプリンセス号にDPAT隊が派遣されたという報道を聞いた時、感染防御のプロでもない精神科医に一体何ができるのかという疑問を持つと同時に、マスクやゴーグルを装着して防御服に身を包み、表情も声も窺えない状況下で、自分だったらどうやってコミュニケーションをとるのだろうか、共感や傾聴などをどうやって表現するのだろうかと不安になりました。その後日常化した「三密禁止」は、まさに意思の疎通と対人関係の深化を阻むものでした。

診察後に握手を交わし、にっこり微笑むことで信頼関係を構築してきた私にとって、コロナ禍以降は診察に多くの言葉が必要になったのを感じます。非言語的交流が難しくなったからでしょう。医療現場に限らず接客窓口に立つ多くの方々は、マスク越しの交流に苦勞されていると思います。今まで以上に言葉を尽くした対応を心がけないと、どうしても素っ気なく事務的に見えてしまい、些細な勘違いや誤解がクレームに繋がり、一気に爆発したりすることがあります。

この2年半の間に入職してきた職員の顔と名前が、なかなか一致しません。マスク越しの表情からは、個性や心性の一部しか見出しできませんし、様々な行事や催事が中止される中、共通の話題や体験が減り、顔の見える関係が結びにくくなったことがとても残念です。真意を伝えようとして電子メールを多用したりしていますが、デジタルによる感情表現は容易ではありません。皆さんはどうやって気持ちを伝えていきますか。

# 特集

## 「つながる、こころと心」



ソーシャルディスタンスが求められ、  
語り合うこと、触れ合うことが難しい今だからこそ考えたい、  
心のつながり。  
そして、コミュニケーションの原点を  
見つめなおしてみたい。

執筆者

タイトル

在宅診療部  
精神保健福祉士

古閑 博隆 『患者さんの優しさに触れて』

認知症デイケア  
看護師

緒方 由美 『利用者さんと私にとっての居場所』

臨床心理室  
臨床心理士

小松 哉子 『花に出会うひと時』

## ～ 患者さんの優しさに触れて～

在宅診療部 副部長 古閑 博隆



20数年前、精神科デイケアに勤務していた頃のこと、患者のAさんから「我が家の柿をちぎりに行こか」というお誘いを受けました。彼は数十年に及ぶ長期入院を経て病院の共同住居に入居し、家には兄夫婦が住んでいました。絶好の秋晴れが続いていたことから他の賛同者も多く、また、普段は口数が少なく控え目な参加態度の多いAさんの提案ということもあり、社会体験学習として総勢7名で向かいました。

ところが、隣町に入り次第に道幅も狭くなってくると、それまでは意気揚々と道案内をしていたAさんの様子が落ち着かなくなり、表情も冴えません。車の速度を落とし何度か道を尋ねていると、「分からん」とポツリ一言。当時、病院周辺の土地勘に乏しい私は焦りました。と同時に、Aさんが長く帰省していないことが判明しました。

運転していても、小さな声で「違う」「分からん」を繰り返すのみ。次第に同乗しているメンバーからも「家が分からんと？」と責めるような発言と、私に対しては「調べてこんだったとね！」と非難の声も上がり始めました。現在のように携帯もカーナビもない時代、ただただ走

り続けていると、一人が「この辺りは道が新しくなって昔とは様子が違う」「この付近の柿を目当てに探そう」と助け船を出してくれました。メンバーから「あれはどうね」「向こうの方だろう」といった声が出て、雰囲気も和らいでいきました。しばらく行くと、大きな石垣の上に、たわわに実った柿の木のある家、Aさんの実家でした。しかし、もう時間切れで、柿はただ眺めるだけで終わりました。私は、自分の計画性のなさでAさんに嫌な思いをさせたこと、活動を台無しにしたことを謝りました。しかし、Aさんは久しぶりに帰れたことがうれしかったと笑ってくれました。他のメンバーからは「今度から、ちゃんと準備してよ」とアドバイスされ、仕事に向き合う姿勢の大切さを痛感しましたが、最後には、「ドライブできて楽しかったよ」と、私の失態を笑いに変えたBさんの感想が心を幾分軽くし、救われた気持ちでした。

入職以来、先輩職員に教えてもらうことは数多くありますが、それと同等か、それ以上に患者さんから多くを教えてくださいたい貴重な体験をしています。そして、患者さんの優しさに触れることで、この仕事を今も続けることができているのです。

## ～利用者さんと私にとっての居場所～

認知症デイケア 看護師 緒方 由美



認知症デイケアに配属されて10年以上の時間が過ぎ、まさに私の「居場所」となっています。現在、中学3年生の娘が小学生だった時に私の仕事を見る機会があり、着物を着て歌ったり踊ったり、被り物をしたりする私を見て「お母さん!おじいちゃんおばあちゃんから笑われてるよ!」と言ったことがありました。

家族の中で見せる母親の顔とは違う印象だったのか、戸惑いがあったようでした。私は「お母さんを見て、おじいちゃんおばあちゃんは笑ってくれるんだよ。みんなが笑ってくれるから、お母さんは頑張れるし楽しいとよ。これがお母さんの仕事よ」と娘に伝えました。

日頃は認知症状が強く出たり、症状として問題行動が出ている利用者さんにも、見て楽しいもの、見て面白いものはダイレクトに脳に伝わります。「あーたはどこからきなはったとですか。チンドン屋でっしょ?」そうです。その時から私はチンドン屋を名乗り、皆さんの“楽しい”という感情の脳の中に入り込もうと決心したのです。見学に来られた認知症の方や家族の方に名札を見せ、「看護師改めチ

ンドン屋です」と名乗っています。そこでクスッと笑って下さる皆さん。掴みはOKです。

私が認知症デイケアで自分の個性、自分らしさを発揮できるのはすべて利用者さんの「笑い」のおかげなのです。病氣の人を治療しているという感覚を重視するのではなく、一緒に楽しみ、その場が楽しいもの、その場において安心でき信頼できるもの、利用者さん一人一人の自分の居場所にしてもらいたいいつも思いますし、それがすなわち「私の居場所」です。

これからもどんどん、チンドン屋として歌い七変化して、利用者さんの脳、記憶に焼き付けて、私にしかできない笑いの絶えない看護、リハビリを目指します。そして、認知症デイケアという存在を身近な家族として感じてもらえたらと思っています。

## ～ 花に出会うひと時 ～

臨床心理室 主任 小松 哉子



私は花を活けることが好きです。入職して間もない頃、会長・犬飼翠雪先生との出会いがあり、お花との出会いがありました。先生は、私の無粋な作品をひと言褒め、さりげなく直して下さいました。花の取り合わせを出会いと見立て、各々を生かし合う。木や花々の瑞々しい存在感に驚きました。一瞬一瞬の木や花々との語りから生まれた作品に風が生まれ、物語が始まる、そんな世界をつくる先生に、今も憧れを抱き続けています。

旧益城病院は、季節折々の木々や、色とりどりの香り高いバラに溢れていました。その豊かな自然を手繰り寄せ、病院の一角に飾るのが楽しみでした。移転して4年目、新病院の木々も、ゆったりとした時間の中で大きく育っています。玄関横には解放感のある「風のテラス」があり、季節毎に表情を変える庭の風景を眺めながらランチを頂く時間はほっこり幸せです。

また、心理検査室の前に小さな棚があり、時々その棚に庭の木や花を飾ります。花を活けていると、行きかう人が声をかけてくれます。見舞いのご家族は荷物を

抱え、「ここでちょっと一息つきます」と、優しい笑顔。施設の職員さんが患者さんと一緒に、「今日は、お花がありますね。この前はなかったの…」と、向かい側の畳椅子に座り眺めます。スタッフからは、「この花は何？これ本物??」と声がかかり、患者さんは、「自然の中みたいですね」と嬉しいエール。一言二言のやり取りが心地よいひと時となります。病院の小さな場に、たまたま居合わせた者同士が、花に出会い、多様な声を響かせます。軽やかな対話は少しだけ気持ちを明るくし、優しい風が吹いたように感じます。そして、先生の感覚に少しだけ近づけたように感じる瞬間が私のご褒美でもあります。

長期化するコロナ禍の中、曖昧で不確かな生活が続き、時々心が硬くなっているように感じます。いつもの暮らしの中で、何気ない声掛け、微笑み、庭の草花や生き物との時間など、手の届く小さなかわり、マスク越しでも顔を合わせお互いの今を感じ合える瞬間を大切にしたいと願うこの頃です。

# Heart Story



## — 小さなこころの物語 —

あの日、自分を包んでくれた家族の愛。  
支えてくれた友達や同僚。患者さんとの  
心温まるふれあい。勇気や力をくれた出  
来事etc... ころの中にしまっておいた  
小さいけれど大切な思いを、一緒に。

### ✧ Mizumoto Family ✧



## 障がいが私たちにくれたもの

共同住居 主任 水本 正

私は23歳から20年間、慢性腎不全のため透  
析治療を受けていました。それは、様々な場面  
で私や周囲に制限を課していました。

娘たちにとっては、朝起きるまで私が居ないこ  
とが普通であり、妻にとっては、休みがちで体調が  
優れない私を見続ける辛さだけでなく、透析の  
間、幼い娘たちを独りで守らないといけない不  
安があったと思います。私もまた、家族にも職場  
にも迷惑をかけ、ただただ不甲斐なさを感じる  
日々でした。4年半前に奇跡的に移植手術を受  
けることが決まった時、診察室で妻と二人、涙が  
溢れたことを思い出します。現在も臓器を提供し  
て下さった方、手術を受ける際に励ましの言葉  
をかけて下さった方々、快く仕事のサポートをし  
て頂いた方々への感謝の気持ちを振り返りなが  
ら、命について家族で時々話し合います。

令和3年、娘が『熊本県 心の輪を広げる体  
験作文』に応募し、県知事より優秀賞を頂きました。  
この作文を読み、娘が命に対してきちんと向  
き合ってくれていること、人への感謝の気持ち  
を持つことができていることがわかって、本当に嬉  
しく誇りに思います。

いつも不自由さを感じていた障がいは、私たち  
家族を成長させ、絆を強くしてくれました。



令和3年度熊本県「心の輪を広げる体験作文」優秀賞

## わたしのお父さん

水本 みお

わたしのお父さんは、手も足もわるくないし、耳も聞こえる、目も見えるけれど、体の中にある「じんぞう」という場所にしょうがいがあります。おとうさんのしょうがいは、まんせいじんふぜんと言います。このしょうがいは、自分の力で血をきれいにする事ができないというしょうがいです。なにもしなければ体中にきれいじゃない血がまわって、長くは生きられません。だから週に三回、一回5時間のちりょうをうけなければいけません。お父さんはわたしたちに、5時間何もできないこと、熊本じしんみたいなことがあっても家族をまもれないことが不安だと言っていました。それと体の調子をくずしてお仕事を休むことがほかの人より多かったそうです。そしてお母さんもお父さんがいないのが不安だと言っていました。わたしもお父さんがいないのは、さびしいと思っていました。

ある日、いつものようにほいく園におくって行ってくれましたが、その日の夕方、家に帰ってもお父さんは帰ってきませんでした。朝になってもお父さんがいなかったなのでお母さんに聞きました。するとお母さんは、お父さんがにゅういんしたことを教えてくれました。新しいじんぞうを体の中に入れるしゅじゅつをするから、しばらく会えないということを聞きました。



わたしは、お父さんのかかえているびょうきが、はじめていやだと思いました。でも、すきなりよこや食べたい物をがまんする生活が何年もつづいていたのでかわいそうだとも思いました。

しゅじゅつをうけてからのお父さんは、わたしたちよりもびょうぎにかかりやすく、たくさんくすりをのまなくてははいけません、ほぼ毎日いてくれるようになりました。今は、まえにしていたとうせきもしなくなりました。今はお父さんがいてくれるのがふつうのように感じます。

わたしは、お父さんにじんぞうをていきょうしてくれた人にとてもかんしゃしています。名前も顔も分からないけれど、元気なお父さんにしてくれてありがとう。





## マスコットキャラクター「ましまる」が2歳に!

去る7月7日は「ましまる」の誕生日。創立70周年記念事業の一環として、職員からキャラクターデザインを募集し、26の応募の中から「ましまる」が誕生したのが2020年の7月7日でした。その後、着ぐるみをはじめ、ラインスタンプや職員のポロシャツ、エコバッグ、ステッカーなどオリジナル商品を展開し、すっかり益城病院の顔となりました。

2周年を迎えた7月7日には、1階の軽食・喫茶「風のテラス」にましまるが参上し、来館された利用者の皆さんに、ましまるオリジナル団扇をプレゼントいたしました。予想以上に好評でした。これからも、当院のマスコットキャラクター「ましまる」をよろしくお願いたします。

広報委員 犬飼 翠



6月 June

**ツタンカーメンの黄金のマスクや  
副産品が語る古代エジプトの  
ファラオの生活**

東海大学文化社会学部アジア学科教授  
山花 京子先生



紀元前に栄えた古代エジプト文明は「王」と「神」と「来世」が精神文化の根幹をなすもので、来世のために生身の身体を保存してミイラ作りが行われていた。来世のための多数の副産品も発見されている。紀元前1300年の「少年王ツタンカーメン」の発掘物語では、1922年のイギリス人考古学者ハワード・カーター氏による発掘に至るまでの苦労の数々や墓を掘り当てた話は、まるで聴衆者全員が探検しているような興奮とスリルに満ちたものであった。ツタンカーメンはマイナーな王で、わずか5歳から19歳までの短い生涯であったという。祖父のアメンや父のアテンの太陽神、エジプトの「ナイルの賜物」と言われる土地柄が文化の発展の源であった。また、摂氏40度の気候がもたらす環境の中で、3000年以上続く文化と謎が残されている。現在、数々の試練を経ながらも延々と続くエジプト学。世界中の学者や探検家が、現地の発掘に日夜邁進しているという講演であった。

ふとしたご縁によって、この度、山花先生の素晴らしい講演会が実現したことに感謝致します。先生は現場で多くの発掘をした方で、話術のすばらしさに、2時間の講演ではもの足りないとの声がしきりでした。

7月 July

**熊本の本を未来へつなぐ  
「再現模写の世界・熊本藩御座船  
(波奈之丸)」 舟屋形天井画復元**

技術監修 大塚 浩平氏



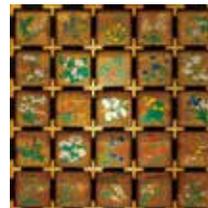
展示風景

今回の巡回展では当館で展示の機会を得ました。この舟屋形は、現存する国内唯一の貴重な国重要文化財です。舟屋形天井画は、構造上の問題があるため間近にみるができなかったのですが、今回、日本画工房浮島館(代表・大塚浩平氏)のメンバーを中心に復元、一般公開が実現しました。小国杉の板絵、日本画の顔料に胡粉、金箔102枚の板絵は見事に復元され、館内が静謐で華麗で荘厳な花園となり、見物客はその見事さに圧倒されました。この取り組みは、長い研鑽の末に全国の多くの方のご支援とご協力により実現されたものでした。このような機会を得たことは稀有なことで、美術館としても大きな誇りとなりました。

また文化庁・伝統文化親子教室事業として「こども日本画教室」の子どもたちによる天井画も同時開催されました。



木蘭(もくれん) 大塚浩平



御座の間

# 犬飼記念美術館創立記念事業

開館17年を迎えるこの夏に記念すべき大きな講演会と展示会を行いました。

法人理事

田中 洋子



## コ・メディカルのお仕事

第8回

就労継続支援B型事業所「ましきの風」



No. 8 主任 佐々木 哲郎

### Q1 益城病院におけるパン工房「まりも」の役割は何だと思えますか？

就労支援は、医療、福祉と並ぶ益城病院の大事な3つの柱の1つです。パン販売やレストラン業務などで、地域の方、利用者さんの家族や他の事業所とつながる大事な窓口と考えています。

### Q2 益城病院に入職して良かったと思うこと。

有能な専門スタッフや有資格者がたくさん勤務していて刺激になることが多く、自己研鑽の意識が芽生えたことです。

### Q3 自分の仕事についてのこだわりは？

職業指導員として、利用者さんから認められるよう、最高のパフォーマンスが行える体力づくり。怪我、病気をしない私生活の過ごし方。食品を扱う仕事なので、もちろん衛生面・清潔は最も重要と考えます。後は、できるだけ仕事を家庭に持ち込まないことです。

### Q4 これから、どんなことを目指したいですか？

利用者さんが体調や気分に合わせて色々な作業を選んだり、地域の方もパンを買うだけでなくレストランで食事したり、コインランドリーや映画なども楽しめるショッピングモールのような施設を作りたいです。



## けんこうup↑レシピ

## 豆腐とキムチのキッシュ風



キムチを明太子に変えるなど、  
いろんな具材で簡単にアレンジできます♪



### <材料>

豆腐	1丁(水切りする)
キムチ	300g
にら	1束(2cm幅に切る)
ベーコン	4枚(1cm幅に切る)
マヨネーズ	3まわし
卵	4個
とろけるチーズ	適量

### <作り方>

- ①フライパンにクッキングシートを敷き、水切りした豆腐を16等分にして並べる。
- ②キムチ、にら、ベーコンの順に重ね、マヨネーズをかけて、溶いた卵を流し入れる。
- ③強火にかけて、蒸気が出たら弱火と中火の間くらいにおとして10分加熱する。
- ④残り3分になったら、チーズを乗せる。

### POINT

フライパンにクッキングシートを敷くことで  
こびりつかず、きれいに仕上がります

# スペシャリストのたまごに聞きました！

## 第8回 就労継続支援B型事業所「ましきの風」 郷野 兼義

Specialist

### Q1 益城病院について感じる事、病院の魅力は？

上司や先輩職員の方達がとても優しいのが魅力です。イベントに参加した際も、利用者(患者)さんの対応など分かりにくい事を丁寧に教えてくださいました。とても頼りになる職場だと思います。

### Q2 就労支援者として心がけていることは何ですか？

相手の話をよく聞くことを心がけ、利用者さんが話しやすいように意識しています。

### Q3 やりがいを感じるのはどんな時？

利用者さんの中には、作業場で集中力が途中で切れてしまい表情も少し硬い時があるのですが、一緒にやったフットサルやサッカーなど共通の話をする事で表情も和らぎ、集中して作業に取り組む姿などが見られた時は、やりがいを感じます。

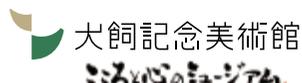
### Q4 仕事で悩んだときは、どうしていますか？

パンづくりは、生地を捏ねる時間、水の量などが気温や時期によって変化するので分からないことばかりでした。しかし、相談しやすい環境で何度でも教えてもらえて、的確なアドバイスに助かっています。部署の枠をこえて上司や先輩にも相談できています。また、サッカーやバドミントンなどのスポーツで心身のリフレッシュをしています。



### Q5 今後の夢について教えてください。

利用者さんと共にパンづくりの喜びを知ったので、自分のスキルを磨き上げて、将来は自分の店舗を開くのが夢です。また、フットサルチーム「チームドラゴン」を九州大会で優勝させたいです。



## 職員の知られざる才能を発掘！

犬飼記念美術館の展示企画として、職員作品展を開催しました。社会医療法人ましき会の職員だけでなく社会福祉法人ましき苑の職員にも声を掛けました。

日本画や書道をはじめ、様々な作品が集まりました。プロ顔負けの作品もあり、知られざる特技や趣味が披露されて職員の新たな一面を発見できました。美術館での展示は好評の内に幕を閉じましたが、美術館に足を運べなかった方のために場所を移して、益城病院内の「風の架け橋」で再度展示いたしました。患者さん・職員だけでなく病院を訪れた様々な方々に見ていただくことができました。



渡邊院長



精神保健福祉士 宗雲



臨床心理士 小松



事務部長 佐伯



施設 迫川

食行動を中心に色々な問題が現れる摂食障害には、いわゆる拒食症と過食症があります。摂食障害について、専門医に聞きました。



# こころ 相談室

## 「第7回 摂食障害について」

Q1

摂食障害には、どのような症状や特徴がありますか。

拒食症は、痩せたいと思ってダイエットをしているうちにコントロールが効かなくなり、どんどん体重が減っていきます。過食症は、かなりの量を食べてしまい、そのあとに嘔吐したり下剤を使ったりして、それが習慣となってしまいます。

Q2

摂食障害が続くと、どんな問題がありますか。

拒食症では、食事がとれなくなって痩せが進行します。女性では生理が止まったり、こだわりが強くなり、頑固な面が強く出たりします。過食嘔吐症では、繰り返す嘔吐の影響で、歯がボロボロになることがあります。

Q3

摂食障害を引き起こす原因として考えられることは？

摂食障害になる人はまじめな頑張り屋さんが多いのですが、その一方で自分に自信が持てず、他人からどう見られているかを不安に感じています。そういう中で、何かきっかけとなり摂食障害になっていきます。



医局長 鮫島峰子

Q4

有効な治療法がありますか？

痩せがひどくなると、考え方や行動が頑固で極端になっていきます。その場合は、行動療法で、まず体重を少しずつ増やしていくことが優先になります。また、自分の感情や感覚を感じにくい方が多いので、それを表現できるように手伝ってあげることが大事な治療の要素です。

Q5

摂食障害ではないかと感じたら、本人や周囲はどう対応すればいいですか？

食べる、食べないという表面的な事にとらわれず、摂食障害で悩んでいることに共感してあげてください。摂食障害の中に、本人の生きづらさ、孤独感などが隠されています。感情を言葉で表現し、身近な人に理解してもらうことが回復の第一歩だと思っています。



当院スタッフがはまっているものなどを紹介するコーナーです。  
スタッフの意外性を新発見できるかも!?

# わたしのイチ推し!

紹介します。

BALLET

## バレエを楽しむ

院長 渡邊 信夫



Ballet Studio  
Candy®

バレエスタジオ キャンディ

娘が幼い頃からバレエを習っていたこともあり、バレエを見るのが好きです。発表会で Coppélia の全幕を見てからは、毎年、場当たり、リハ、ゲネプロ、本番と舞台ができあがっていく過程を楽しく見ていました。

娘が高校を卒業してからは、バレエを見る機会はほとんどなくなりましたが、今年5月、久しぶりにバレエスタジオキャンディのおさらい会を見に行きました。1年前に熊本市に移設したばかりの教室で、講師は当院元医事課職員の長女さん。3歳から大人まで、稽古風景からバリエーションまで見られて、楽しい会でした。元検査技師の方もトウシューズで素敵に踊られていました。また楽しみが増えました。

HOT SPRING

## 温泉でリラックス!

医療連携・相談室 主任 大宮 理絵



私のイチ推し、それは温泉でのリラックスタイムです。私は10代の頃から頸や肩が凝りやすいのですが、自宅での入浴とは異なり、温泉でしっかり温まると症状が軽くなるので、若い頃からよく温泉に行っていました。子ども達も小さい頃からよく連れて行ったので温泉が大好きです。

私は遠距離運転が苦手なので、なかなか遠くまでは行けないのですが、熊本には近場に(阿蘇でも数十カ所)温泉があるので、お出かけした帰りには寄り道して温泉を楽しみました。最近子ども達も大きくなり、予定が合わずに一緒に出かけることは少なくなりましたが、時間がある時には近場の温泉に行き、ひとり時間を楽しんでいます。

新型コロナの影響で行く機会が減りましたが、今から涼しくなり、温泉でゆっくり過ごすにはいい季節になるので、秋が待ち遠しいです。



## 「患者さんに合わせた看護の必要性を実感」

D(認知症治療)病棟  
看護師 福本 真倫



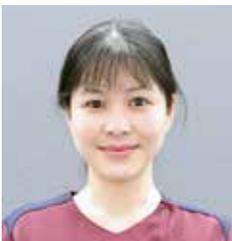
入社して最初の一月は、様々な部署で研修をするシステムに沿って、各部署や関連施設、多職種・地域連携など沢山のことを学びました。現在は、認知症治療病棟に配属となり、プリセプターを始め先輩スタッフから、看護技術や個々に合わせた看護について学んでいます。

患者さんの中には、精神的、社会的、身体的痛みを抱えている方も多くおられます。逆に、患者さん

からじっくりと話を聞ける場合もあり、過去の背景からその訴えについて考え、関わり方を工夫することで患者さんに笑顔が見られるようになったことがあり、喜びとやりがいを感じます。

益城病院で働き始めて感じるのは、上司や先輩スタッフが優しく様々なことを教えて下さるので、とても働きやすい環境だということです。また、病棟が症状ごとのユニット構成になっている事や、定期的にカンファレンスを

行い、患者さんの「その人らしい生活」について多職種で話し合っている点も挙げられます。個々のことを考えた、より深い関わり方ができているのが強みで、日々、患者さん一人ひとりに合わせた看護の必要性を実感しています。



D(認知症治療)病棟  
看護師

**福本 真倫**

城北高等学校 看護専攻科  
2022年卒業

## プリセプターからのひとこと D(認知症治療)病棟 看護師 甲斐 優希

意思疎通が難しい認知症の患者さん相手に意図をくみ取り、残存機能の維持を図りながらケアをすること、また、普段の生活の中で生きがいを持ってもらうこと。このようなことを心がけながら、患者さんに優しく寄り添える看護師を目指すよう指導しています。社会人一年目であり、戸惑いも多い

なか、日々の学びに懸命に取り組む姿には心を打たれますし、何とんでも、いつも笑顔を保つ対応には、私たちの方がかえって学ばされています。若さと明るさと日々の努力を自身の看護力に繋げ、患者さんの心のよりどころになれると信じています。



1.ブルーベリー狩り（2021年） / 2.まりもパン作り体験（2016年） / 3.皆でしっかりお勉強（2022年）

## 職員の安心を支える「ましき塾」

施設管理  
阿蘇品 直文

「ましき塾」は、福利厚生の一環として1994年に始まったもので、職員が安心して勤務できることを目的に、小学校の夏休み期間中、職員の子も達を病院が預かる取り組みです。開始当初に塾を利用した子どもたちはすでに社会人となり、中には当院で活躍している人もいます。

入職して間もない私がましき塾を知ったのは、2016年4月に発生した熊本地震の時でした。地震発生から約1週間後、小中学校の休校により、夏休みを待たずに塾が始まりました。当時、益城町にボランティアに来ていた関西の小・中学校の先生や熊本大学教育学部の学生などに講師を引き受けてもらい、この年も途切れることなく塾を開くことができたのでした。私は2017年から塾を担当していますが、当時の小学1年生が今では6年生。子ども達の成長とともに歳月の流れを感じます。

そんな中で私が自慢に思うのは、塾に通っていた子どもが大学生になり「自分もお世話になったから」と、講師を希望してくれることです。また、塾に通った経験のない職員家族が、講師に応募してくれることもあります。担当者としては、有り難さと同時に微笑ましく感じます。職員の子どもの面倒を職員の子弟でみるという風土が醸成され、それを繋いでいけることがましき塾の理想です。

塾は毎年1回の開講ですが、コロナ禍においては休校や学童保育の閉鎖など環境の変化に対応し、その都度「臨時ましき塾」が開講されました。これからも、真に職員が安心して勤務できる環境づくりに寄与できるものと確信しています。

# 研 修 と 院 内 勉 強 会

院 内		
5月	7日	責任者・事務当直者勉強会(毎月)
	11日	医局勉強会(毎週)
	13日	入職1年目・2年目フォローアップ研修
	27日	認知症対応強化勉強会
6月	29日	精神保健福祉士勉強会
7月	21日	虐待防止研修会
院 外		
6月	2日	熊本県精神科病院協会栄養部小委員会研修会(zoom)
	5日	全日本断酒連盟第36回九州ブロック(熊本)大会【講演:松永哲夫】(3名)
	10日	事業所管理者セミナー2022(zoom:4名)
	16,17日	第118回日本精神神経学会学術総会(2名)
7月	1,2日	第26回日本医療情報学会春季学術大会(オンライン:3名)
	4日	熊本県精神科病院協会コメディカル部会研修会(zoom)
	9日	日本精神科病院協会熊本県支部研修会
	16日	第103回熊本神経精神学会(犬飼邦明)
	20日	熊本県精神科病院協会事務長研修会(zoom)
	29日	主任介護支援専門員更新研修(zoom)(福島ひろみ)
	29日	令和4年度益城町虐待防止に関する研修会(zoom)(本田千代美)
8月	2,3日	相談支援従事者初任者研修(山迫浩史)
	15,16日	令和4年度介護給付訂正化事業に係る研修(本田千代美)
	31日	認知症に関する看護研修会(3名)

診療実績		単位:人			
区分	R4	5月	6月	7月	8月
外 来	外来患者延人数	3,252	3,267	3,135	3,451
	(うち新規患者人数)	56	67	51	59
	平均外来患者人数	125.1	125.7	125.4	119.0
入 院	新入院患者人数	32	36	29	40
	退院患者人数	31	31	33	38
	在院患者延人数	6,184	6,110	6,274	6,199
	平均入院患者人数	199.5	203.7	202.4	200.0
	平均在院日数(単位:日)	196.3	182.4	202.4	158.9

病院等行事		
2022年5月~8月		
5月	9日	辞令交付式
	13,18日	胸部レントゲン集団検診(職員対象)
	14日	院内被服販売(病棟患者等対象)
6月	25日	グループホーム「ふるさと」火災通報訓練
	1日	辞令交付式
6月	22日	消防避難訓練
	6日	参院選入院患者不在者投票
7月	25~8/26日	ましき塾
	28日	高齢者グループホーム「ふるさと」家族会(夏祭り)
8月	1日	大規模災害熊精協非常時通信訓練

# 職 員 往 来

新しい職場でがんばっています。よろしくお願ひします。

2022年4月2日～2022年9月1日



フリガナ

氏 名

入職年月日

所 属

職 種

- 1 趣味・特技
- 2 志望理由
- 3 ひとこと



モリカワ トモコ

森川 智子

2022/5/16

育児室

事務

- 1 映画鑑賞、音楽鑑賞、ピアノ
- 2 以前から家の近所にあります益城病院に対し、関心を持っていました。様々な形で地域医療に

貢献されていることを知り、私も何かお手伝いできないかと思い志望致しました。

- 3 保育の仕事は初めてで分からない事だらけですが優しい皆様に支えられていますので子どもたちと共に成長していけたらと思っております。よろしくお願ひ致します。



アラキ シホ

荒木 志保

2022/6/1

C病棟

看護師

- 1 登山・旅行・美味しい物を食べる
- 2 益城病院に8年前まで勤務していましたが、

働きやすい職場環境であることや、精神科看護をもう一度やりたいと思い志望しました。

- 3 新しい環境で不安な事も多いのですが、たくさんのかんことを吸収して笑顔で頑張っていきたいと思ひます。



ニシトミ ユキ

西富 由紀

2022/9/1

栄養管理科

管理栄養士

- 1 game、カメラ、音楽を聴きながら散歩すること。
- 2 もう一度、管理栄養士として頑張ってみようかなと思ひている時に益城病院と

ご縁があり働かせていただくことになりました。

- 3 約5年間のブランクがあり不安ではありますが、その不安を取り除くためにも努力を惜しまず意欲的にスキルアップに努め、1日でも早く貢献できたらと思ひます。



フジノ マサカズ

藤野 政和

2022/9/1

C病棟

准看護師

- 1 魚釣り、ドライブ
- 2 今まで精神科で働いていました。その経験を活かし、さらに新しいことを学びたく志望しました。

- 3 この度、縁あって広島から引っ越してきました。熊本の楽しいことを色々教えてください。方言が耳に馴れず、とまどっていますが早くなじみたひので宜しくお願ひします。



サカモト ヒデオ

坂本 英雄

2022/9/1

施設管理

事務

- 1 ゴルフ、バイク
- 2 病院での施設管理経験を活かしたいと思ひ志望しました。
- 3 またお世話になることになりましたけど、今ま

で以上に頑張りたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

## 実習生受け入れ実績

5月	九州ルーテル学院大学PSW実習 (1名)
	九州中央リハビリテーション学院作業療法実習 (1名) 尚綱大学栄養士実習 (1名)
6月	九州ルーテル学院大学精神保健福祉援助実習 (1名) 九州看護福祉大学統合実習 (14名) 熊本総合医療リハビリテーション学院作業療法実習 (1名) 熊本総合医療リハビリテーション学院救命救急学科施設実習 (3名)
	7月
8月	尚綱短期大学栄養士実習 (1名) 熊本総合医療リハビリテーション学院作業療法実習 (1名)



コスモス畑と秋の空

## 編集後記

熊本地震後より在宅支援担当となり、入居者支援をしています。入居者の在宅生活は、垣根を越えた多部署の職員や、家族とのつながりに支えられていると日々感じて仕事をしています。支援の方向性が同じであればあるほど、平和で安定した在宅生活が長く続けられると思います。ウィズコロナの時代、ふるさと巡りを復活させたいと考えています。

(広報委員:共同住居 高野 聖子)



社会医療法人ましき会

# 益城病院

MASHIKI HOSPITAL

精神科・心療内科・小児科・歯科

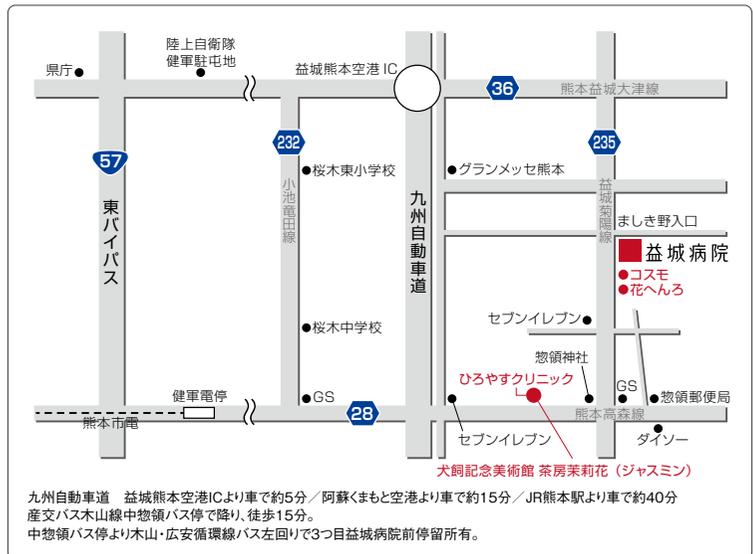
〒861-2232

熊本県上益城郡益城町馬水123

096-286-3611

外来電話受付時間(月曜～金曜)

午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00



### 付属施設

- 熊本県認知症疾患医療センター
- 高齢者グループホーム「ふるさと」
- 指定相談支援事業所「アントニオ」
- 訪問看護ステーション
- 居宅介護支援センター
- 就労継続支援B型事業所「ましきの風」  
パン工房「まりも」、清掃・院庭管理「クリーンサム」  
洗濯作業「あひるのしっぽ」、軽食・喫茶「風のテラス」
- 共同住居「iハウス」
- 宿泊型自立訓練事業所「コスモ」
- 育児室「あんふあん」
- 犬飼記念美術館  
「こころと心のミュージアム」

### 関連施設

- ひろやすクリニック 内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・糖尿病内科  
熊本県上益城郡益城町惣領1530  
TEL 096-286-3636
- 特別養護老人ホーム 花へんろ  
熊本県上益城郡益城町惣領1670  
TEL 096-287-8706
- 養護老人ホームAKAI花へんろ  
熊本県上益城郡益城町赤井1800  
TEL 096-286-2075

表紙タイトル:Well(うえる) “植える”にちなみ地域に根を張り、健やかな生き方をサポートしたいという願いを込めています。

表紙撮影:犬飼 翠 発行:社会医療法人ましき会 益城病院 広報委員会

写真:坪井川沿いの竹灯り

発行日:2022年10月17日

ホームページは  
こちらから▶



Facebookは  
こちらから▶



益城病院

検索